

(仮 訳)
プレス・リリース
2013年4月11日
バーゼル銀行監督委員会

バーゼル銀行監督委員会が日中流動性管理のための モニタリング指標の枠組みを公表

バーゼル銀行監督委員会(以下、「バーゼル委」)は、本日、支払・決済システム委員会と協議のうえ、『日中流動性管理のためのモニタリング指標』の最終文書を公表した。

本日の公表は、新しい報告の枠組みを導入するものであり、これによって、銀行監督当局は、銀行の日中流動性リスク管理や銀行が時限通りに支払・決済債務を履行する能力を、より良くモニタリングできるようになる。

本指標を通じたモニタリングを続けることで、監督当局は、銀行の支払・決済行動について一層の理解を得ることになる。

本枠組みは以下の点を含んでいる。

- ・ 銀行の日中流動性リスクに係るモニタリング指標の詳細
- ・ ストレスシナリオ
- ・ 適用に関する主要な論点
- ・ 報告の枠組み

7つの定量的なモニタリング指標は、バーゼル委が2008年に公表した『健全な流動性リスク管理及びその監督のための諸原則』に示された日中流動性リスク管理の定性的な指針を補完するものである。

本日公表された日中流動性モニタリング指標の当初案は、2012年7月に市中協議に付された。市中協議案に対するフィードバックやコメントは、モニタリング指標の修正や最終化するために有益であり、バーゼル委として感謝するものである。